

ETCユニット

取り付けと接続

お買上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この「取り付けと接続」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

NVA-ET1

Sony Corporation © 2001 Printed in Japan

ソニーFAXインフォメーションサービスのご案内

(FAX付電話でご利用になれます)

カーフィッティングFAXサービス

車種メーカー、車種・車種形式別のカーオーディオ部の取り外し方法、各種センサー位置等の資料

①インデックスの入手 / 03-3552-7209
→車種メーカー別のBOX番号を受信

②資料請求 / 03-3552-7488
→アナウンスに従いご希望の車種の該当BOX番号を入力してください。

・ソニーFAXインフォメーションサービスをご利用の際のインデックス入手料・資料請求は通話料のみお客様のご負担となります。またFAXの機能によっては受信できない場合があります。

・FAXサービスのメンテナンス日は 毎月第2木曜日 午前8:00～午後11:00となっております。ご迷惑をおかけしますが、当日前記時間帯は資料を取り出すことはできません。ご了承ください。(第2木曜日が祭日の場合は前日の水曜日をメンテナンス日とさせていただきます。)

24時間
お手元のFAXで
資料が取り出せます

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設しています。お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われときの相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話：048-794-5194
受付時間：月～金 9:00～18:00
(祝日、年末年始、弊社休日を除く)

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- ・型名
- ・故障状態：できるだけ詳しく
- ・お買上げ年月日

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35
お問い合わせはお客様相談センターへ
●ナビダイヤル 0570-00-3311
●携帯電話・PHSでのご利用は 03-5448-3311
●FAX 0466-31-2595

警告 安全のために

警告表示の意味

「取り付けと接続」と製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
- 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号
 火災
 感電

行為を禁止する記号
 禁止
 分解禁止

警告

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です
大型トラックや寒冷地仕様車のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



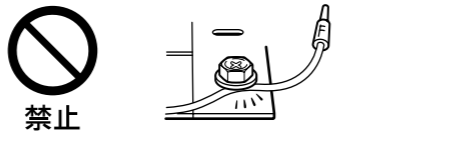
前方の視界を妨げる場所に取り付けない
前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。



運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付け

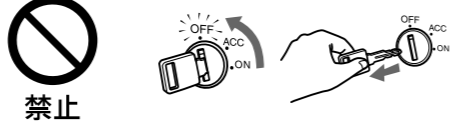
運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

- ・ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- ・コード類はまとめる。
- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



取り付け、接続作業をするときには、必ずイグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく

イグニッションキーをONにしたまま作業すると、バッテリーあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などに危険があります。



注意

下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

付属の部品で正しく取り付ける
他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

安定した場所に取り付ける
振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付け
動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。

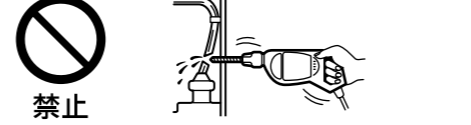


ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。

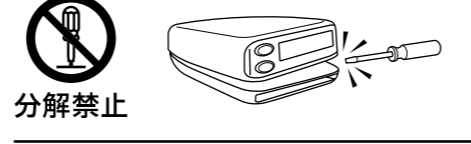


雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



規定容量のヒューズを使う
ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。

取り付ける前に

ETCユニットのご利用には、取り付けられる車両情報などをETCユニットに登録する「セットアップ」が必要となります。また、車両を変更する場合には、新しい車両情報などをETCユニットに登録する「再セットアップ」が必要となります。詳しくは、お買い上げ店へお問い合わせください。

ETCユニットのご利用には、ETCユニットに挿入して使用するETCカードが必要となります。クレジット会社が発行するETCカードをご利用になる場合は、別途発行手続きに伴う審査・条件が必要となります。詳しくは、ETCユニットを購入された販売店へお問い合わせください。

ETCユニットのご利用に関する詳細は、お買い上げ店へお問い合わせください。

ナビシステム本体側での操作や表示内容については、ナビシステムの取扱説明書をご覧ください。

ソニーのDVDナビシステムNVX-M7000を本機と接続して使う場合は、バージョンアップキットNVD-M101でNVX-M7000をバージョンアップする必要があります。

ETCユニットを取り付けたら動かさないでください。受信感度に影響する場合があります。

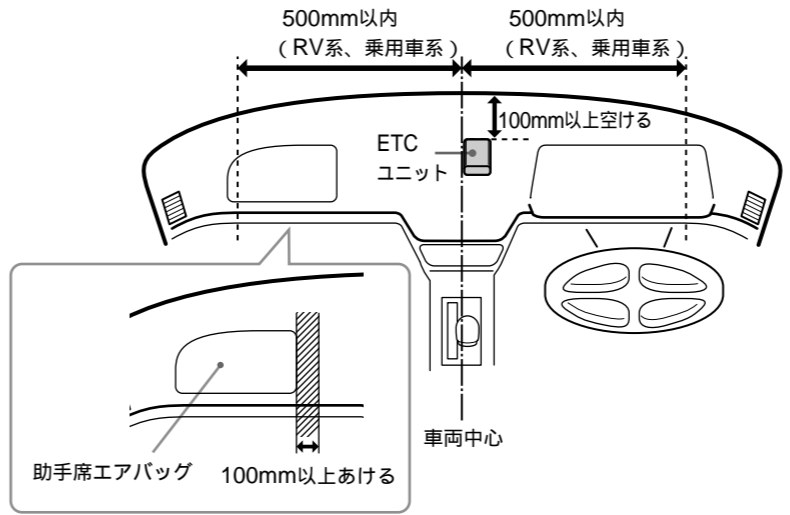
フロントガラスが熱線反射ガラスの場合は、路側アンテナと通信できない場合があります。

付属部品の確認

- ① 電源コードA
- ② 電源コードB
- ③ 通信ケーブル
- ④ 取り付けステー
- ⑤ クサビ形ステー
- ⑥ 両面テープ
- ⑦ 六角レンチ(1mm)
- ⑧ バンドクランプ×7
- ⑨ コード固定テープ×2
- ⑩ コードクランプ×6
- ⑪ クリップ
- ⑫ 角度調整治具A
- ⑬ 角度調整治具B

取り付け場所の確認

下図のように取り付けられるかどうか、ご使用になっている車に合わせてETCユニットの配置場所を確認してください。



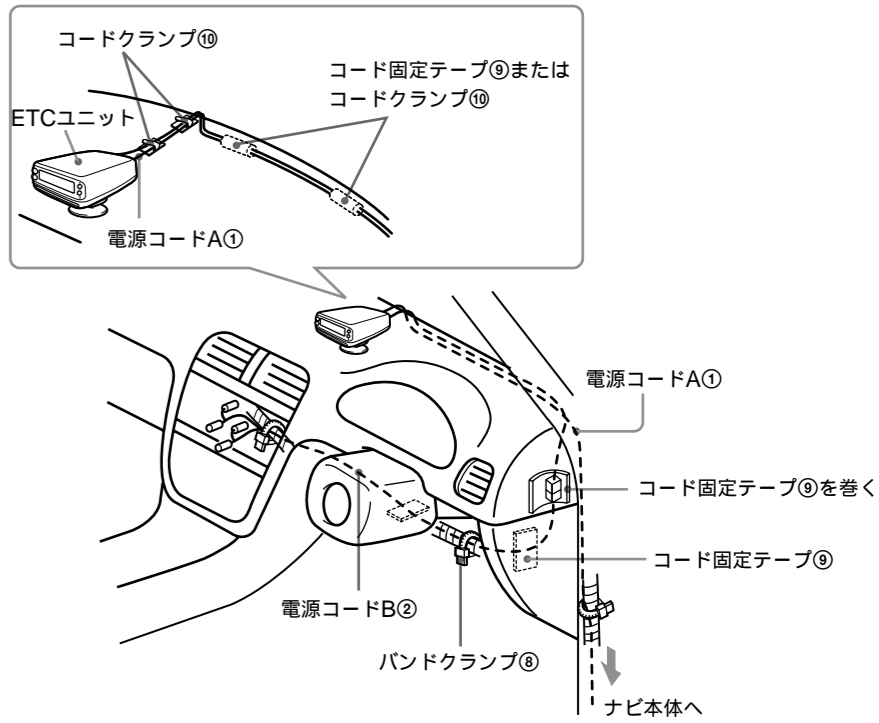
- 1 イグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく
- 2 仮置きして、取り付け位置やケーブルの長さなどを確認する

- ・車両中心より500mm以内に取り付けてください。
- ・ダッシュボード内にGPSアンテナがある場合は、中心よりできるだけ右端に取り付けてください。左ハンドル車の場合は、中心よりできるだけ左端に取り付けてください。
- ・必ずダッシュボードに取り付けてください。

- ご注意**
- ・フロントガラスへのETCユニットの映り込みができるだけ少ない位置へ取り付けてください。
 - ・ダッシュボードの上に小物入れがある場合は、フタの展開範囲にETCユニットを取り付けないでください。
 - ・他の取り付けユニットやコード類は離してください。
 - ・なるべく平らな部分に貼り付けてください。ダッシュボードの曲面が大きいとはがれる場合があります。
 - ・あらかじめ取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。
 - ・湿気の高い時(雨、霧など)は、取り付け面を十分に乾燥させてください。取り付け面に水気があると、接着力が低下し、はがれる場合があります。
 - ・取り付け面の温度が低いときは、接着力を上げるため、車内ヒーター、ヘアドライヤーなどを利用して温めながら貼り付けてください。

コードを処理する

取り付けと接続が終わったら、運転の妨げにならないようコード類をまとめてください。



- ・コード類はフロントガラスとデフロスタの隙間に入れてください。
- ・隙間が大きい場合は、電源コードA、通信ケーブルにコード固定テープ(20mm×80mm程度に切ったもの)を巻いてください。
- ・隙間のない場合はコードクランプ®を使用し固定してください。
- ・配線は左右どちらか各々の車両に適した向きへ配線してください。
- ・余長分は束ねてバンドクランプで固定してください。

ご注意

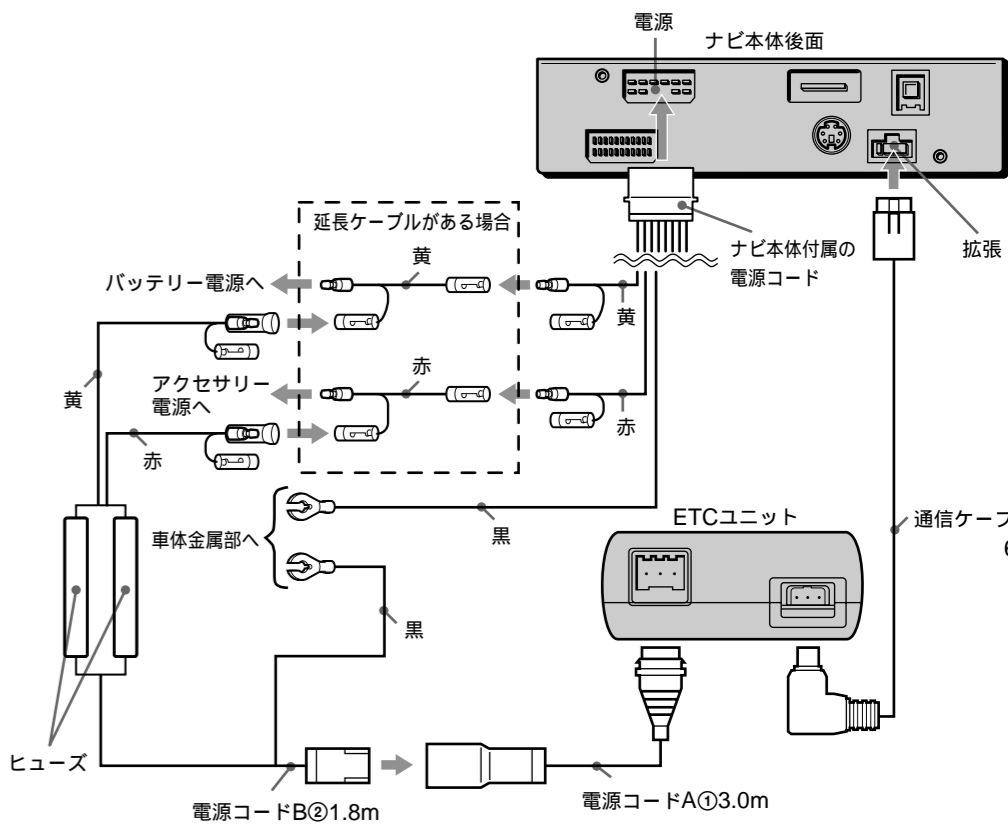
- ・デフロスタの吹き出し口をさけて配線してください。ケーブルの変形および、コードクランプがはがれる場合があります。
- ・カーテンエアバッグ付き車の場合は、フロントビラーを取り外さず電源コードAを隙間に押し込んでください。フロントビラーの固定クリップが破損し修復できなくなる場合があります。
- ・配線する際、稼働部やエッジ部等に干渉しないよう注意して配線を行ってください。電源コードA、コードBの断線につながる場合があります。
- ・重要保安部(各エアバッグ等)の車両ハーネスへは固定しないでください。誤作動の原因になる場合があります。

接続図全体

必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機の接続コードの色は、JEITAコードカラーに準拠しています。

*JEITAは、電子情報技術産業協会の略称です。



- ・ヒューズを交換するときは、配線などをチェックして、原因を確認し適切な処理を行ってから、必ずヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因になり、大変危険です。

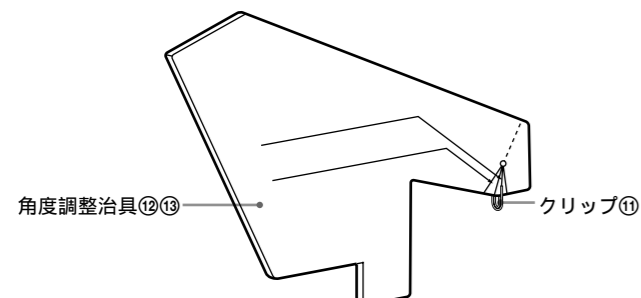
ご注意

- ・接続するときは必ずイグニッションキーをOFFにしてください。
- ・必ず常時電源とアクセサリ電源を接続してください。
- ・延長ケーブルを使っていない場合は、ナビ側の電源コードとETCユニットの電源コードB®の各端子を直接つないでください。

角度調整器具を作成する

1 角度調整器具をつなぎ残し部から切り離す

2 角度調整器具にクリップを取り付ける



切り離すときに角度調整器具が破れないように注意してください。

●●● ご注意

- ETCユニットとフロントガラスの距離を100mm以上確保するため角度調整器具Aの使用を推奨しますが、車両によって100mm以上確保できない場合は角度調整器具Bを使用してください。

ETCユニットを取り付ける

ETCユニットの取り付け方法は3種類あります(下記参照)。お客様のお車にあった取り付け方法で取り付けてください。

取り付け位置に取り付けステーを置いて角度調整器具をあて、前方向に13°~33°以内になる場合。

「取り付けステーのみを使用する場合」をご覧ください。

取り付け位置に取り付けステーを置いて角度調整器具をあて、前方向に13°~33°以内にならない場合。ダッシュボードの角度が急な場合。

「クサビ形ステーを使用し取り付けする場合」をご覧ください。

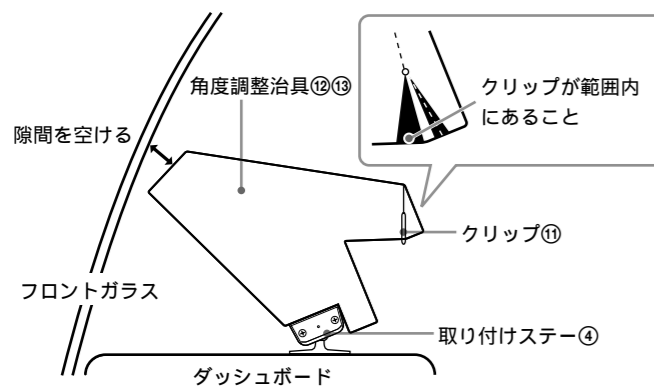
ダッシュボードの上にクサビ形ステーを置き、角度調整器具をあて、前方向に13°~33°以内になる場合。

「クサビ形ステーのみを使用する場合」をご覧ください。

取り付けステーのみを使用する場合

1 車両の前方との角度を調整する

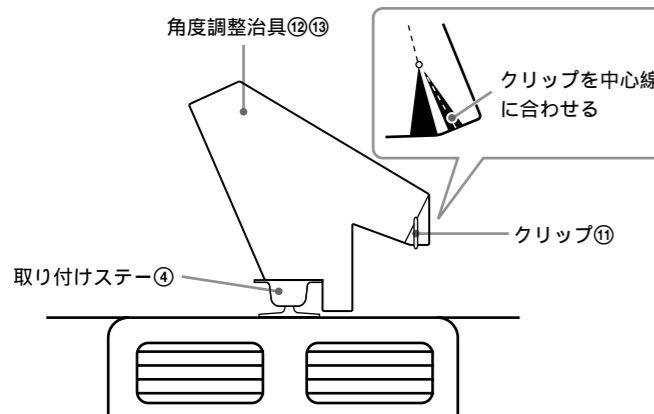
取り付けステーに角度調整器具をあて、フロントガラスと取り付けステーの間に角度調整器具が入ることを確認してください。



- 取り付け位置に取り付けステーを置いて角度調整器具をあて、前後方向に13°~33°以内になるように取り付けステーの角度を調整してください。
- 運転者がETCユニットの表示部を見やすい位置に取り付けてください。
- できるだけフロントガラスから離れた位置に取り付けてください。

2 車両の左右との角度を調整する

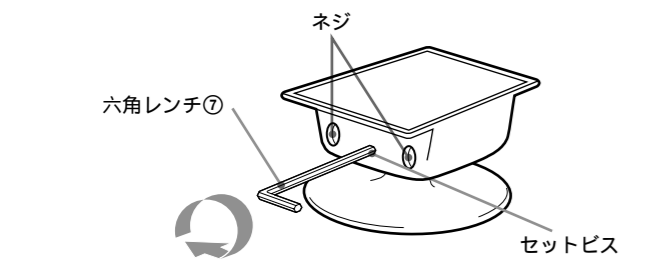
取り付けステーに角度調整器具をあて、左右方向に0°±5°以内になるように取り付けステーの角度を調節してください。



- クリップはできるだけ角度調整器具の中心線に合わせるようにしてください。

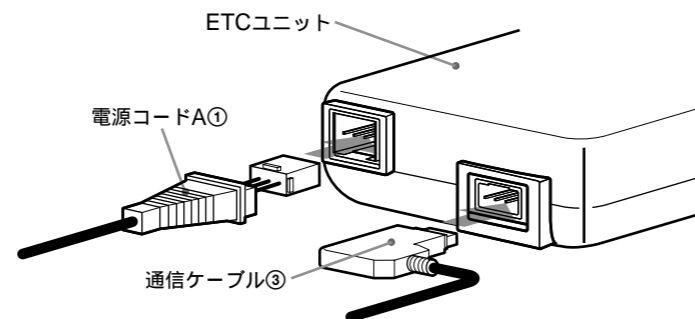
3 取り付けステーを固定する

取り付けステーのネジを締めてから、六角レンチでセットビスを締め固定してください。



- セットビスが取り付けステーに当たった位置から1/2回転締め込んでください。締め込みすぎると取り付けステーが破損する場合があります。
- 六角レンチは必ず付属のものを使用してください。

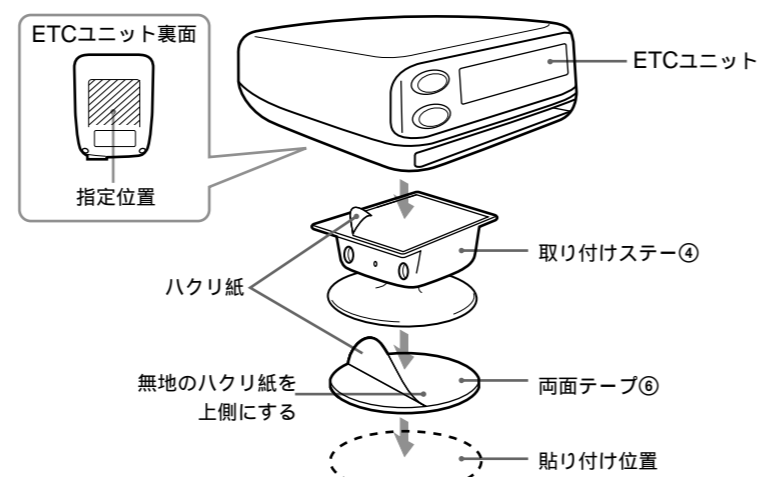
4 ETCユニットにケーブル類を接続する



- 電源コードAは、先に先端の白いコネクター部を差し込み、その後にゴムブーツをはめてください。
- ETCユニット単体での使用の場合は通信ケーブルを使用しません。通信ケーブルは別売のナビゲーションシステムと通信する時に使用します。ETCユニット単体での使用の場合は通信ケーブルを抜いておいてください。

5 取り付けステーを貼り付ける

- 取り付けステー下面に両面テープを貼り付け、取り付けステーを取り付け位置に貼り付けてください。
- 取り付けステー上面のハクリ紙をはがし、ETCユニットを取り付けステーに取り付けてください。

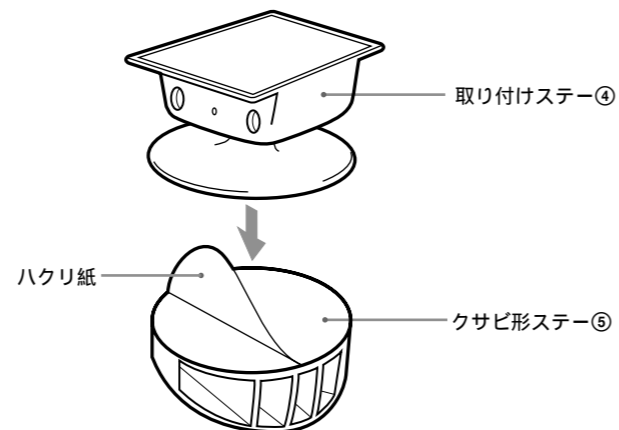


- あらかじめ取り付け位置のゴミやホコリ、油污れなどを拭き取ってから取り付けてください。
- 取り付け面の温度が低いときは、接着力を上げるため、車内ヒーター、ヘアドライヤーなどを利用して温めてから貼り付けてください。

クサビ形ステーを使用して取り付けの場合

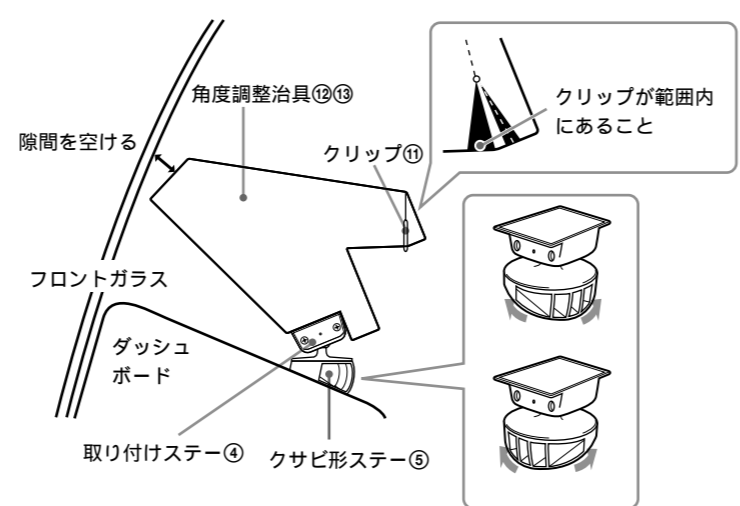
1 クサビ形ステーに取り付けステーを貼り付ける

クサビ形ステー上面のハクリ紙をはがし、取り付けステーを貼り付けてください。



2 車両の前方との角度を調整する

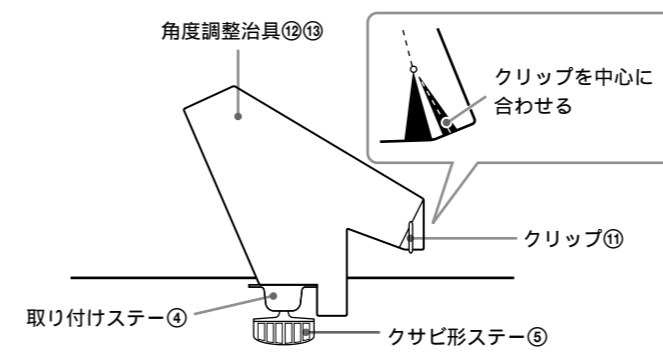
取り付けステーに角度調整器具をあて、フロントガラスと取り付けステーの間に角度調整器具が入ることを確認してください。



- 取り付け位置に取り付けステーを置いて角度調整器具をあて、前後方向に13°~33°以内になるように取り付けステーの角度を調整してください。
- 運転者がETCユニットの表示部を見やすい位置に取り付けてください。
- できるだけフロントガラスから離れた位置に取り付けてください。
- 取り付けステーの底面がなるべく水平になるように、ダッシュボードの形状に合わせて取り付けステーの下部を回転させ、クサビ形ステーの向きを調整してください。

3 車両の左右との角度を調整する

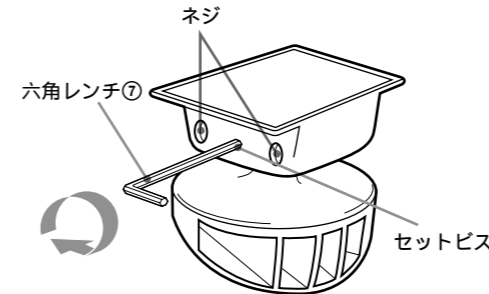
取り付けステーに角度調整器具をあて、左右方向に0°±5°以内になるように取り付けステーの角度を調整してください。



- クリップはできるだけ角度調整器具の中心線に合わせるようにしてください。

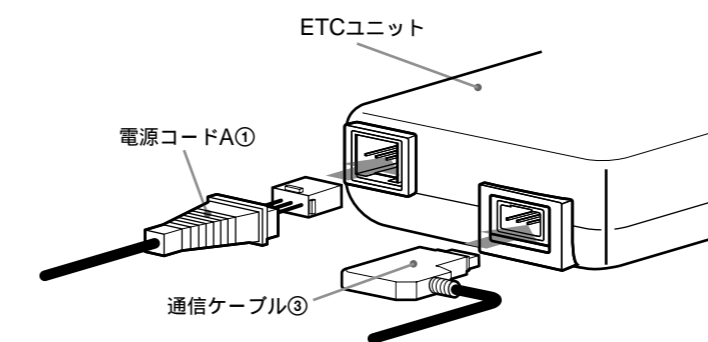
4 取り付けステーを固定する

取り付けステーのネジを締めてから、六角レンチでセットビスを締め固定してください。



- セットビスが取り付けステーに当たった位置から1/2回転締め込んでください。締め込みすぎると取り付けステーが破損する場合があります。
- 六角レンチは必ず付属のものを使用してください。

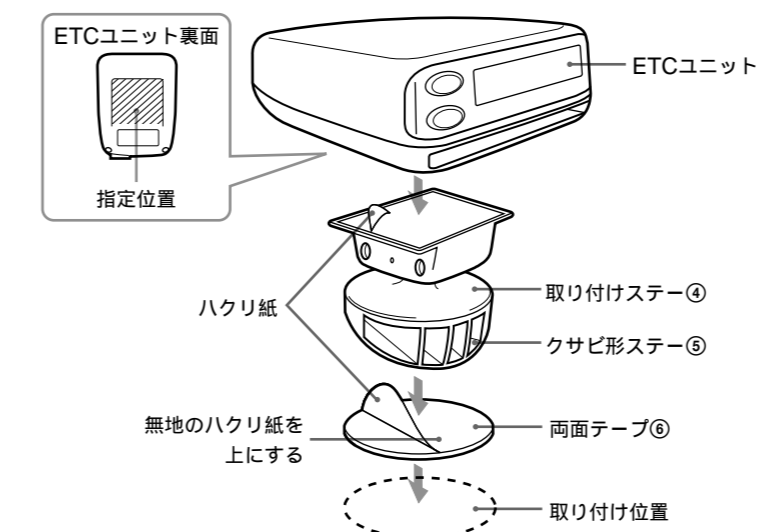
5 ETCユニットにケーブル類を接続する



- 電源コードAは、先に先端の白いコネクター部を差し込み、その後にゴムブーツをはめてください。
- ETCユニット単体での使用の場合は通信ケーブルを使用しません。通信ケーブルは別売のナビゲーションシステムと通信する時に使用します。ETCユニット単体での使用の場合は通信ケーブルを抜いておいてください。

6 取り付けステーを貼り付ける

- クサビ形ステー下面に両面テープを貼り付け、クサビ形ステーを取り付け位置に貼り付けてください。
- 取り付けステー上面のハクリ紙をはがし、ETCユニットを取り付けステーに取り付けてください。

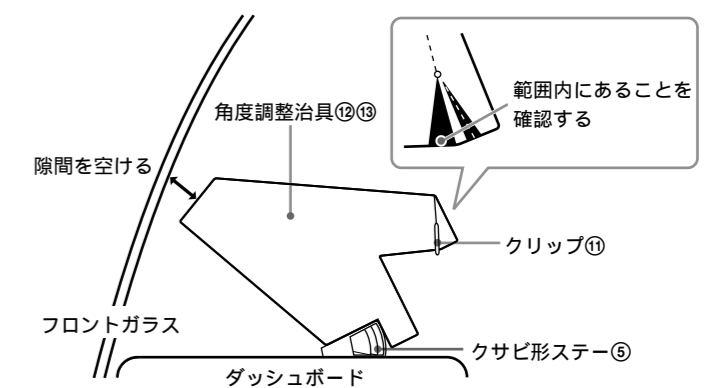


- あらかじめ取り付け位置のゴミやホコリ、油污れなどを拭き取ってから取り付けてください。
- 取り付け面の温度が低いときは、接着力を上げるため、車内ヒーター、ヘアドライヤーなどを利用して温めてから貼り付けてください。

クサビ形ステーのみを使用する場合

1 車両の前方との角度を調整する

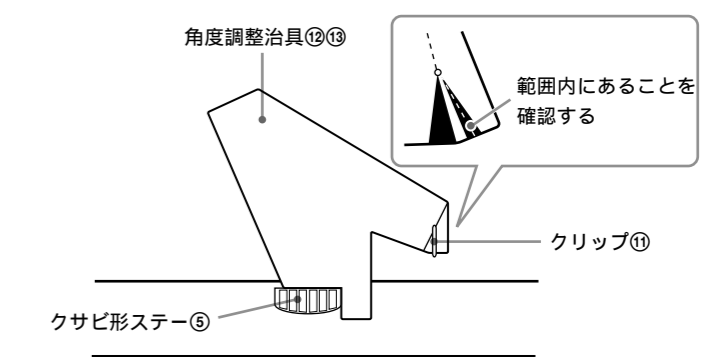
クサビ形ステーに角度調整器具をあて、フロントガラスとクサビ形ステーの間に角度調整器具が入ることを確認してください。



- 運転者がETCユニットの表示部を見やすい位置に取り付けてください。
- できるだけフロントガラスから離れた位置に取り付けてください。

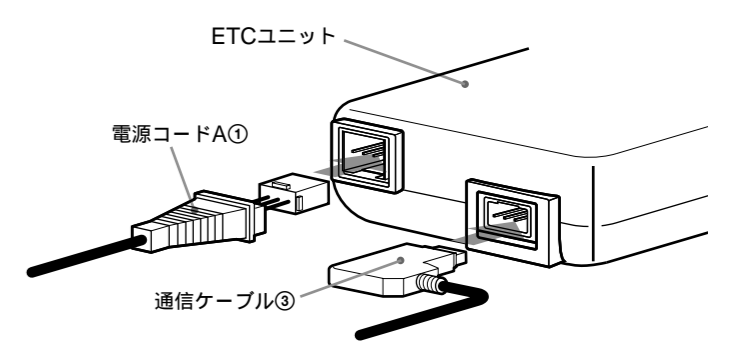
2 車両の左右との角度を調整する

クサビ形ステーに角度調整器具をあて、左右方向に0°±5°以内になるようにクサビ形ステーの角度を調節してください。



- クリップはできるだけ角度調整器具の中心線に合わせるようにしてください。

3 ETCユニットにケーブル類を接続する



- 電源コードAは、先に先端の白いコネクター部を差し込み、その後にゴムブーツをはめてください。
- ETCユニット単体での使用の場合は通信ケーブルを使用しません。通信ケーブルは別売のナビゲーションシステムと通信する時に使用します。ETCユニット単体での使用の場合は通信ケーブルを抜いておいてください。

4 クサビ形ステーを貼り付ける

- クサビ形ステー下面に両面テープを貼り付け、クサビ形ステーを取り付け位置に貼り付けてください。
- クサビ形ステー上面のハクリ紙をはがし、ETCユニットをクサビ形ステーに取り付けてください。



- あらかじめ取り付け位置のゴミやホコリ、油污れなどを拭き取ってから取り付けてください。
- 取り付け面の温度が低いときは、接着力を上げるため、車内ヒーター、ヘアドライヤーなどを利用して温めてから貼り付けてください。